

3-1,
3-2

様式第4号 (第5関係)

活動結果報告書

平成30年5月31日

越前市議会

議長 前田 一博 殿

議員氏名 三田村 輝士



下記のとおり報告します。

日 程 平成30年5月8日(火曜日)～平成 年 月 日(曜日)

活動先 三田村てるしだより 56号

活動目的 議会での取り組み等を市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

印刷業者 伊部印刷

支払金額 64,800円

印刷部数 4,300部

別添のとおり

三田村てるしだより

No.56 2018.4発行 〒915-0031 越前市余川町 31-11 電話27-1837

3月定例議会

3月定例議会は2月21日から3月19日までの27日間にわたって開催され、議案に対する質疑や一般質問をはじめ各常任委員会で審議が行われました。

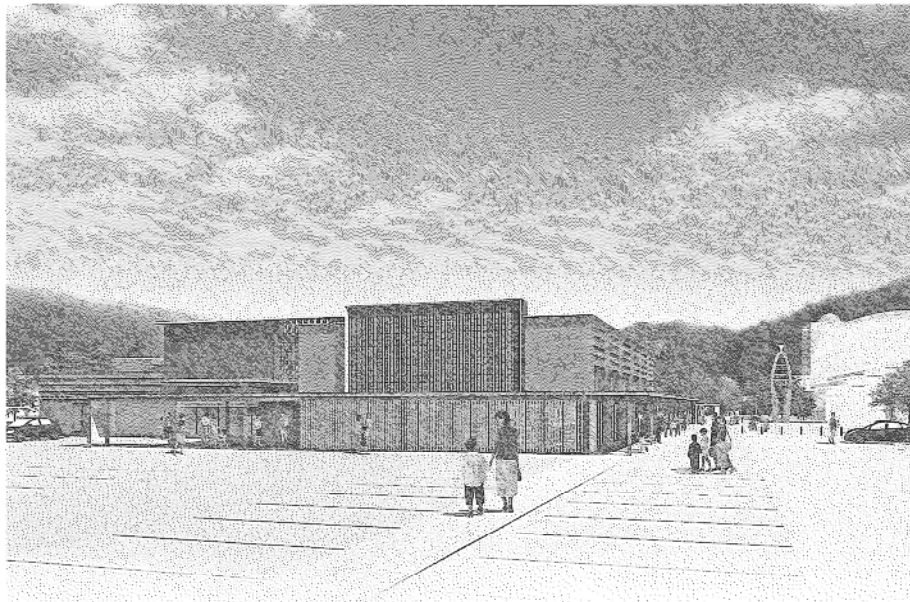
議会最終日には、平成30年度一般会計予算や平成29

年度一般会計3月補正予算、条例の制定・一部改正等の29議案の採決が行われました。提案されていた「市職員の退職手当に関する条例の一部改正」は、市職員の退職手当を算定する調整率を現行の100分の87から100

分の83.7引き下げるための改正で、施行日が「公布の日（可決日：3月19日）」となっていることから3月末の退職者（32名）も対象となり、1人あたり平均72万円の削減になる内容です。この議案に対して、2名の議員から条例の施行日を「平成30年4月1日」に変更しようとする修正案が提出されましたが採決の結果、賛成少数（6名）で否決となりました。原案に対する採決では賛成多数（17名）で可決となりました。

「越前市あいばく今立設置及び管理条例」は、今立総合支所が入居する複合施設が8月に完成することから、その名称を「越前市あいばく今立」とし、施設の管理に関する事項を定めるために制定されました。

予算案については、平成30年度一般会計当初予算（371億1,600万円）に対して反対討論がありました。採決の結果、賛成多数（14名）で可決されました。その他の26議案は賛成多数で可決しました。



8月完成予定の越前市あいばく今立（イメージ）

9月24日（予定）完成式典

平成30年度当初予算

平成30年度一般会計当初予算は371億1,600万円で、中央公園の再整備や河津線（牧井手神社西～文化センター）等の道路整備等が終了したが、新庁舎建設がピークを迎えることや国体の開催負担金等が増加したことにより、過去最大規模の予算となりました。

歳入では納税者の増加による個人住民税や

市内企業の業績好調による法人市民税、企業の設備投資や新築住宅の増加による固定資産税等が増加したことで、昨年比10.8%増の132億8千万円を見込んでいます。

特別会計と企業会計を含めた総予算額の合計は604億600万円で前年比1.4%の減です。

(百万円)

会計別	平成30年度当初予算額	平成29年度当初予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	37,116	36,771	345	0.9
特別会計	20,359	21,693	△1,334	△6.1
企業会計	2,931	2,799	132	4.7
計	60,406	61,263	△857	△1.4

平成30年度当初予算 主要事業

①市役所本庁舎建設 29億8,292万円

本体工事費総額 58億6,650万円
 期間 平成29年～31年度
 平成31年10月末完成予定

②あいばーく今立（今立総合支所入居の複合施設） 今秋完成 3億9,150万円

本体工事費総額 8億2,230万円
 期間 平成28年～30年度
 平成30年8月完成予定
 9月24日（予定）完成式典
 9月25日 供用開始

③北陸新幹線南越駅周辺整備 1億649万円

平成35年春開業予定
 駅前広場、P&R駐車台数（612台）、
 道の駅（観光交流センター）等の詳細設計及び造成工事



④（仮称）市民センター整備 1,227万円 （設計委託料）

平成31年11月オープン予定
 アルプラザ武生（平和堂）3・4階を再整備し、屋内での市民の憩いの場と位置付け、市民交流の促進や中心市街地の賑わい創出を図る。

⑤国体実行委員会運営 3億円

【国体競技】9月30日～10月8日
 ソフトテニス、軟式野球、フェンシング、ソフトボール
 【全国障スポ競技】10月13日～15日
 ソフトボール（知的）

⑥子ども未来応援 540万円

子ども達の身近な地域に、家庭学習等ができる居場所づくりを支援する。



⑦小・中学校教育振興 646万円

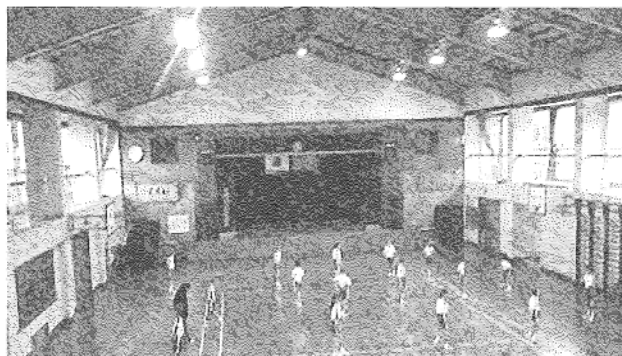
【小学校運営支援員の配置】
 教員が児童・生徒の指導及び教材研究に注力できるよう、教員業務の支援員を配置する。
 【中学校部活動指導員の配置】
 教員の多忙化解消を目的とし、部活動の顧問として生徒の指導、引率が可能な指導員を配置する。

⑧小学校空調機（エアコン）設置 1億116万円

事業費総額 4億7,476万円
 期間 平成30年・31年度
 市内の全ての小学校17校の普通教室・特別学級等に一齐にエアコンを設置し、平成31年夏の稼働開始を目指す。

⑨味真野小学校屋内運動場改修 9,000万円

老朽化した屋内運動場を改修し、洋式トイレや多目的トイレを整備する。



⑩工芸の里構想推進 8,000万円

タケフナイフビレッジ独立工房ゾーンの造成及び工房の改修を行い、交流人口の増加を目指す。

⑪ふるさと納税寄附目標額 1億5,600万円

ふるさと納税 1億5,000万円
 クラウドファンディング 500万円
 企業版ふるさと納税 100万円

⑫住宅支援事業 9,953万円

【拡充】住宅取得支援（まちなか、居住誘導区域）
 【新規】子育て世帯定住化支援（まちなか）
 子育て世帯と移住者への住まい支援
 多世帯同居・近居住まい推進
 【拡充】空き家等リフォーム支援
 【拡充】従業員用共同住宅建設等支援 ほか

⑬地域経済応援ポイント 101万円

【越前市ポイントを貯める】
 マイナンバーカードを使い、クレジットカード会社、航空会社、携帯電話会社などのポイントを越前市ポイントに変換
 【越前市ポイント使う】
 めいぶつチョイス（通販サイトでの買い物）
 しきぶ温泉湯楽里（入浴料）
 「ちひろの生まれた家」記念館（入館料） ほか

一般質問

3月議会の一般質問では「30豪雪から明らかになった課題と対策」と「子どもの権利を守る仕組み」及び「介護保険の充実」等の3項目について理事者の考え方を質しました。

30豪雪から明らかになった課題と対策については、37年ぶりの大雪によって死傷者が出たことや住宅等や農業用ハウスに甚大な被害が発生したこと、さらに各路線で交通渋滞が発生し、交通網が麻痺状態に陥ったこと等から、今後の市の対応について質しました。

子どもの権利を守る仕組みでは、子どもの格差・貧困、虐待・いじめ・不登校、インターネット依存等の問題で子どもの子育て環境が厳しい現状にあることから、子どもの権利や利益が守られているか監視する調査機能や必要な制度の改善の提案、勧告を行う制度改善機能等を有する第三者委員会の設置を提案しました。

介護保険の充実では、市の要介護認定率が年々低下してきて県下で一番低い状況になっていることから、その原因の分析を提案するとともに介護職員処遇改善加算の実態把握や介護給付の適正化を強く求めました。

1 30豪雪から明らかになった課題と対策

① 今回の豪雪から明らかになった課題と、その克服に向けた対策は。

▼県知事に大雪に関して支援要請を行った。引き続き各方面のヒアリングを実施し、年度内及び今夏ころまでの対応に整理して取り組む。

② 除雪状況と交通状況の把握を行い、交通渋滞の回避や円滑な交通状況の維持のために災害情報のネットワーク化が必要。

▼除雪車にGPS機能を搭載し情報ネットワークを構築すると、除雪状況が、いち早く把握ができ、住民への情報提供が可能となるが、費用対効果等の見極めが必要であり、直ちに導入は困難で、県とともに研究する。

③ 市道路連絡協議会において除雪体制や消融雪道路と連携した除雪の優先道路を決めたり、一方通行などを事前に確認しておくことが重要。

▼優先順位や一方通行を事前に決めることは困難。早急に交通確保を行う必要がある幹線道路は、夜間通行止めをして集中的に除排雪作業を行う。

④ 災害時に民間駐車場や建物を退避所として利用できるように協力を求め、その表示看板を市が提供するなど、共助の輪を広げてはどうか。

▼武生石油協会との協定により災害時の帰宅困難者に対し、飲料水やトイレの提供など、一時休憩所として協力を頂くこととなっている。民間の駐車場などを退避所として協力を呼びかけることは、表示看板の提供を含め、今後、研究する。

⑤ 災害弱者の屋根雪下ろしは、登録している事業者や個人に、お願いできる仕組みはあるが、さらに登録を充実させる必要がある。

▼今回の課題を踏まえ、できるだけ多くの個人や団体等に協力いただける方法を検討する。

⑥ 学校の駐車場の除雪は、子ども達の安全面を考えると教育委員会として予算の確保と充実が必要。

▼小・中学校敷地内の除雪は、各校に5万円程度の謝礼を計上しているが、予算が不足する場合は、流用するなど対応する。

⑦ 農業用ハウスの被害が多数発生したことから被災農家に対する支援が必要。

▼県と緊密に連携を図りながら対策を考えていく。

⑧ 市長は今回の降雪状態や除雪状態を視察し、どのような課題や対策の必要性を感じたか。

▼雪害対策本部を設置し、全庁体制で取り組んだ。今後はより多くの関係団体のヒアリングを行い、課題の解決、再発防止対応強化を研究する。できるものは年度末に完結し、新年度から対応を図りたい。時間を要するものは、国・県への重要要望書に反映し、より一層の対策強化を図る。

2 子どもの権利を守る仕組み

① 平成28年度に児童福祉法の一部が改正され、約70年ぶりに理念が見直されたが、具体的にどのような改正なのか。

▼今回の改正で、児童は適切な養育を受け、健全な成長・発達や自立が図られること等を保障される権利を有することを位置づけ、その上で、国民、保護者、国、自治体ができる形で、児童の福祉が保障される旨が明確化された。

② 法改正に子どもの権利を守る付帯決議がついたが、その内容は。

▼自分から声をあげられない子どもの権利を保障するため、子どもの権利擁護に係る第三者機関の設置を含めた実効的な方針を検討する旨の内容。

③ 昨年、本市において開催された地方自治と子ども施策全国自治体シンポジウムをどのように総括したのか。

▼子ども当事者がバネラーや分科会の発表者になる等、子ども当事者の活躍が見られた。LGBT、外国籍、障がい者等当事者を発表者に迎えたことなど、越前市の子ども支援が充実している特徴的な内容について高評価をいただいた。

④ シンポジウムで新たな課題も見えてきたのではないかと。

▼子ども当事者の悩みや意見を施策に変えていく仕組みがないことが課題であると認識した。更に、第三者委員会の設置が必要との意見もいただいた。

⑤ 第三者委員会とは具体的にどのようなものか。

▼第三者委員会の機能は、①子どもの権利や利益が守られているかどうかを独立した立場で監視する機能、②子どもの代弁者として、子どもの権利の保護・促進のために必要な制度の改善の提案や勧告を行う機能、③苦情申し立てに対応し、必要な救済を提供する個別救済機能、④子どもの権利に関する教育・意識啓発を行う教育機能等となっている。

⑥ 子ども達の意見を代弁・擁護する第三者委員会の設置が必要ではないか。

▼今回のシンポジウムで学んだことも踏まえ、今後の検討課題とする。

3 介護保険の充実

① 高齢者の要介護認定率が年々低下し、県下で一番低い状況だが、その原因を分析することで、更なる成果が生まれるのではないかと。

- ▼事業を分析し、成果が認められた事業は介護予防事業に反映できるよう検討する。
- ②要支援者に提供されてきた介護予防給付のうち訪問介護と通所介護が新しい総合事業に移行されたが、その担い手の育成・確保をどうするのか。
- ▼行政、地域、事業者等、全ての関係者が力を合わせ、担い手育成・確保に取り組んでいく。
- ③昨年4月から介護職員処遇改善加算が充実したが、市内の事業所への指導と実情把握はどうしているのか。
- ▼地域密着型介護サービス事業所について、加算届出書と実績報告書の確認を通して把握していきたい。
- ④介護給付の適正化が求められているが、どのようにチェック体制を工夫しているのか。
- ▼介護保険適正化事業の実施のため、ケアプラン点検やケアマネジャー指導、事業所指導に関して、介護支援専門員1名を新たに4月から配置する予定。
- ⑤介護予防事業の「膝腰いびく教室」が廃止されると聞いたが、その理由は。
- ▼平成29年度から新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)に制度が変更になったため、同様の事業を通所型短期集中予防サービスC型で実施している。
- ⑥平成30年度から居宅介護支援事業者の指定権限や指導、監査の業務が県から市に移譲されるため、長寿福祉課の体制強化が必要。
- ▼新たに配置する介護支援専門員により、居宅介護支援事業者への適切な指導監査を実施し、体制強化を図る。

自治創想

(仮称)市民センターの整備

市がアルプラザ武生(平和堂)3・4階(8,300㎡)に屋内子ども広場や市民団体活動拠点として(仮称)市民センターを整備する計画について、前号(第55号)に続いてお知らせします。

昨年12月議会後に、会派代表者(6会派)会議を開催し、①具体的な配置計画を示すこと。②窓がない、天井が低い等の構造的な問題の解決策を示すこと。③初期投資費や人件費、維持管理費及び駐車場費の詳細を示すこと。④賃借料を減額すること。⑤財政計画を示すこと。などの6項目に意見を集約し、市長に対して資料の提示と説明を求めました。これに対して1月31日に次のとおり回答がありました。

- ①配置の素案は別図のとおり。
- ②基本的に窓は設けられていないが、既存の設備を生かしてリノベーションする。3階の天井の高さは現況約3.2mで、4階(3m)より高く、市民利用機能各室への改修は可能。子ども広場は水平展開するような遊び場(遊具)の設置でも子どもたちが楽しめる空間を演出する。
- ③初期投資費は子ども広場を含む3階全体の改修費として2億5千万円程度(遊具は除く)を想定し、人件費と維持管理費については、4階の費用(約1,850万円)を参考に、管理運営を4階と連携させることで3階の追加費用として高熱水費・清掃委託料ほかで約1千万円、運営委託料は約300万円を見込む。賃借料は当初提案(平和堂:4千円/月・坪・税抜、市:3,771円/同)から減額し3,700円/同で交渉中。駐車場費用は協議中。
- ④財政計画は国庫補助金を1億円とし、起債9千万円、一般財源ほかで6千万円を見込む。

3月議会では、平成30年度の当初予算案に(仮称)市民センター整備のための基本・実施設計費1千2,278千円が計上されました。

一般質問は四名の議員が行い、屋内子ども広場をアルプラザ3階にした理由や十分な検討をしたのか、平和堂に関わることに市民の理解は得られるのか、賃借期間の20年間には合理性があるか、途中解約の必要性が出た場合の対応等が質されるところに、公共施設の機能移転の受け皿とすることやハローワークとの共用部分の費用負担をしっかりと交渉すること、平和堂に対して中心市街地の活性化の要請を行うこと等を求めました。

これらに対して理事者からは「子育て支援機能との連携や様々な世代の人たちが交流を深め行くことができる。議会に示した資料をもとに関係団体や関係者の意見を踏まえて整理した。日頃からの危機管理等の想定を踏まえ、悪い状況に至らないように総合的に判断する事が重要。安定的に施設運営や業務継続を行うために20年契約は妥当である。」等と答弁があり、「当初予算案が議決されれば、議会及び市民の意見をさらに伺いながら、新年度に(仮称)市民センター整備について具体的な検討を進める。」との方向性が示されました。

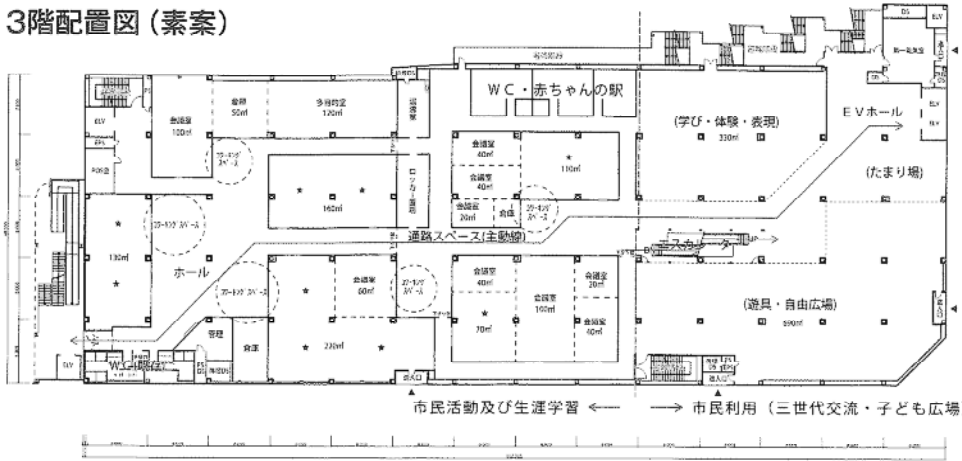
(仮称)市民センター整備のための基本・実施設計費を含む平成30年度当初予算案に対する採決では6名の議員が反対しましたが、14名の賛成多数で可決しました。

これを受け、平成30年度には詳細の基本・実施設計が行われます。

今後、議会としては(仮称)市民センターが市民福祉の向上や中心市街地の活性化を図ることができるとなるように詳細設計の進捗を見ながらしっかりと議論してまいります。また総務委員会として、長野県塩尻市の

公民の多様な機能が融合した複合施設「市民交流センター」を視察し、課題解決型の図書館運営や協働のまちづくり、子育て支援センターの取り組み等を学び、本市の(仮称)市民センター整備に活かしていきたいと思っております。

3階配置図(素案)



様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

平成30年4月30日

越前市議会

議長 前田 一博 殿

議員氏名 三田村 輝士



下記のとおり報告します。

日程 平成30年4月1日(日曜日)～平成 年 月 日(曜日)

活動先 入谷町市政報告会

活動目的 議会での取り組み等を市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

入谷町改善センターにおいて、入谷町の住民を対象とした、市政並びに3月議会の内容に関する報告及び住民からの意見徴収を行った。

入谷町市政報告



三田村てるし

平成30年度 当初予算

一般会計	371億1,600万円	(前年比0.9%)
特別会計	203億5,942万3千円	(前年比△6.1%)
企業会計	29億3,095万7千円	(前年比4.7%)
合計	604億638万円	(前年比△1.4%)

3月議会 一般質問①

- ・30豪雪から明らかになった課題と対策
 - 今回の豪雪から、見えてきた課題と対策
 - 災害情報のネットワーク化が必要
 - 災害時には道路の除排雪に優先順位
 - 災害弱者の屋根雪下ろし
 - 学校の駐車場の除雪
 - 農業用ビニールハウス等の損壊に対する支援

3月議会 一般質問②

- ・子どもの権利を守る仕組みについて
 - 子どもの権利擁護に係る第三者機関の設置の必要性
- ・介護保険の充実について
 - 要介護認定率の低下の原因分析
 - 地域支援事業の担い手の育成・確保
 - 介護現場で働く介護職員の処遇改善
 - 介護給付適正化の取り組み

(仮称)市民センター

- ・アルプラザ3・4階に(仮称)市民センターを設置する。
- ・アルプラザ3階(4900㎡)を新たに借受ける。
- ・市民活動拠点や屋内子ども広場を整備
- ・ハローワーク武生を誘致
- ・教育・子育て・就労および市民活動の支援を充実させる。
- ・旧国高診療所と勤労青少年ホームの機能を移転
- ・今後、20年間の賃借料は27億7800万円
- ・初期投資額は、約2億5千万円(屋内子ども広場を含む)

平成30年度主要事業

(仮称)市民センター整備事業

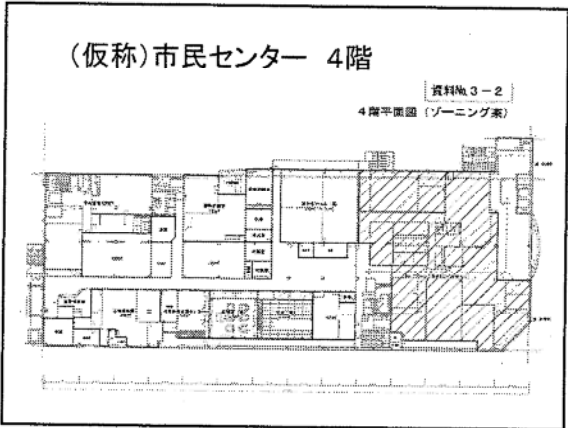
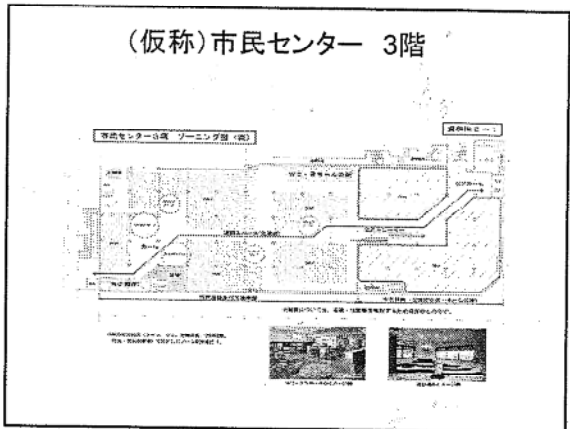
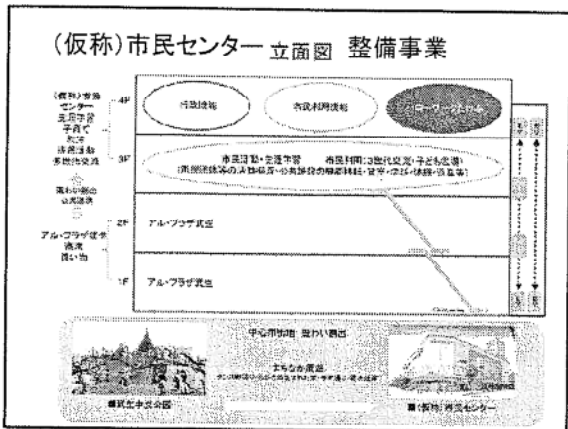
- ・平成30年度予算額 1,227万8千円

●主な事業

- ・アルプラザ武生の3階・4階を再整備し、屋内での市民の憩いの場と位置づけ、市民交流の促進や中心市街地のにぎわい創出を図る

【スケジュール】

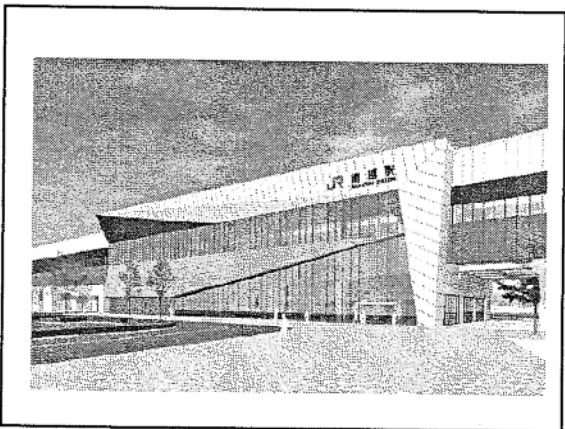
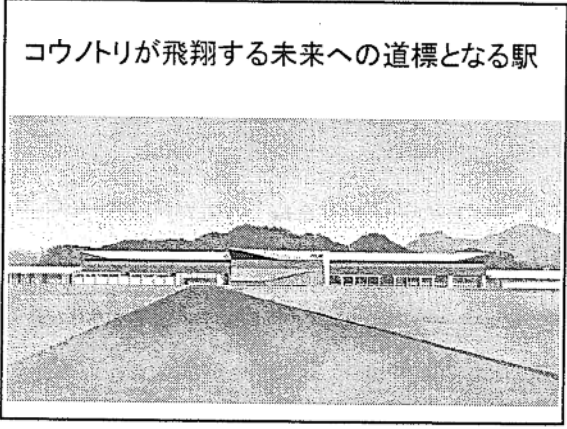
- ・平成31年11月頃オープン予定(3階のみ)



**北陸新幹線南越駅 (仮称) 駅舎デザイン3案について
デザインコンセプト
『伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅』**

1984年11月22日
1984年11月22日

案1	案2	案3
<p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p> <p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p> <p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p>	<p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p> <p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p> <p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p>	<p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p> <p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p> <p>伝統的な屋根の要素を取り入れ、現代的なデザインで表現することにより、伝統と現代の融合を図る。</p>



南越駅(仮称)駅舎デザインA案に対する付帯意見

- ・ 丹南地域の伝統的工芸品を駅舎内部で活用してほしい。
- ・ 県産材を使用し、周辺環境に合っためくもりのある駅としてほしい。
- ・ ユニバーサルデザインに配慮した駅としてほしい。
- ・ 駅周辺施設との動線に配慮した駅としてほしい。
- ・ ホーム階への採光に十分配慮し、明るい雰囲気となる様にしてほしい。
- ・ 駅舎の照明設備は、周辺環境に配慮したものとしてほしい。
- ・ 西日による眩しさや暑さに配慮した駅としてほしい。
- ・ 雪対策に十分配慮した駅としてほしい。

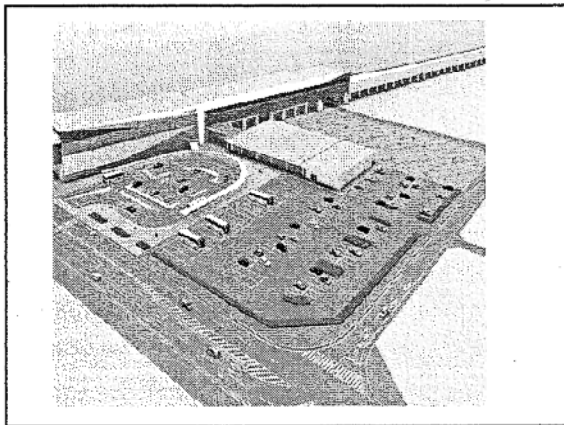
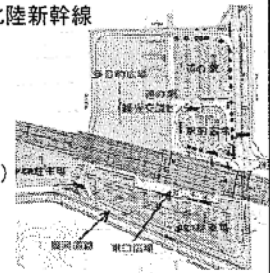
平成30年度主要事業

北陸新幹線南越駅周辺整備事業

- ・ 平成30年度予算額 1億649万円
- ・ 平成35年春開業予定の北陸新幹線南越駅(仮称)の周辺整備

(整備内容)

- ・ 駅前広場、P&R 駐車場の駅(観光交流センター)の詳細設計及び造成工事



平成30年度主要事業

本庁舎建設事業

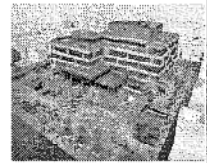
【継続費総額】 58億6,650万円

- ・ うち平成30年度 29億8,292万円

【期間】平成29年～31年度

●スケジュール

- ・ 平成29年8月～建設工事着工
- ・ 平成31年10月末の完成予定



平成30年度主要事業

越前市あいぱーく今立 建設事業

(今立総合支所入居 複合施設)

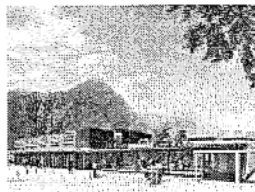
【継続費総額】 8億2,230万円

- ・ うち平成30年度 3億9,150万円

【期間】平成28年～30年度

●スケジュール

- ・ 平成29年4月～建設工事着工
- ・ 平成30年8月末 完成予定
- ・ 9月24日(予定)完成式典
- ・ 9月25日 供用開始



平成30年度主要事業

地域経済応援ポイント事業

- ・ 予算額 101万5千円

【越前市ポイントを貯める】

- ・ マイナンバーカードを使い、クレジットカード会社、航空会社、携帯電話会社等のポイントを越前市ポイントに変換

【越前市ポイントを使う】

- ・ めいぶつチョイス(通販サイト買物)
- ・ しぎぶ温泉湯楽里(入浴料)
- ・ 「ちひろの生まれた家」記念館(入館料)ほか



平成30年度主要事業
小学校教育振興事業/中学校教育振興事業

・平成30年度予算額 646 万6 千円

【学校運営支援員の配置】

教員が児童・生徒の指導及び教材研究に注力できるよう、教員業務の支援員を配置する。

【部活動指導員の配置】

教員の多忙化解消を目的とし、部活動の顧問として生徒の指導・引率が可能な指導員を配置する。

平成30年度主要事業
小学校 空調機(エアコン)設置

【事業費総額】

4 億7,476 万円 うち平成30 年度 1 億116 万円

【期間】平成30 年・31 年度

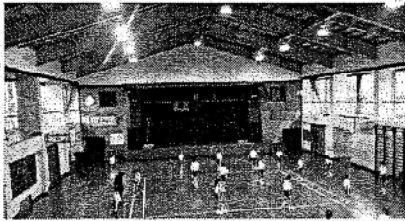
【内容】

市内全ての小学校17 校の普通教室・特別学級等にエアコンを設置し、平成31 年夏の稼働開始を目指す。

味真野小学校 体育館改修・整備工事

・H29年度 実施設計 680万円(12月補正予算)

・H30年度 改修工事 9千万円(H30年度 予算)
 屋内運動場改修、洋式トイレ、多目的トイレ整備



タケフナイビレッジ共同工房観光拠点事業

・タケフナイビレッジが実施する共同工房の改修、増設及び独立工房ゾーンの整備を支援
 総工費:2億1050万円

・H30年:8,000万円
 独立工房ゾーン整備、共同工房改修工事

・H31年:共同工房ゾーン増設



台風21号関連被害復旧工事

入谷町関連事業

・水田法面崩壊・・・岸梅宅東側(2か所)
 石休線、千石谷線

・水路閉塞……………横谷線横断水路
 石休線上